

リコー社製 デジカメ対応

- 1 リコー社製デジカメ対応 _____ 1
- 2 RICOH G700/G600の
画像加工検知機能に対応 _____ 6

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。



1 リコー社製デジカメ対応

写真管理で作成した分類ツリーの分類名称を、「リコーデジタルカメラメモリスト」として出力します。

その分類を取り込んだリコー社製デジタルカメラを使用して現場で写真を撮り、必要であれば管理項目など情報を入力することができます。

その後、写真管理への取り込み時には、付加した分類情報を参照し、写真データの取り込みと同時に自動的に分類振り分けをおこないます。

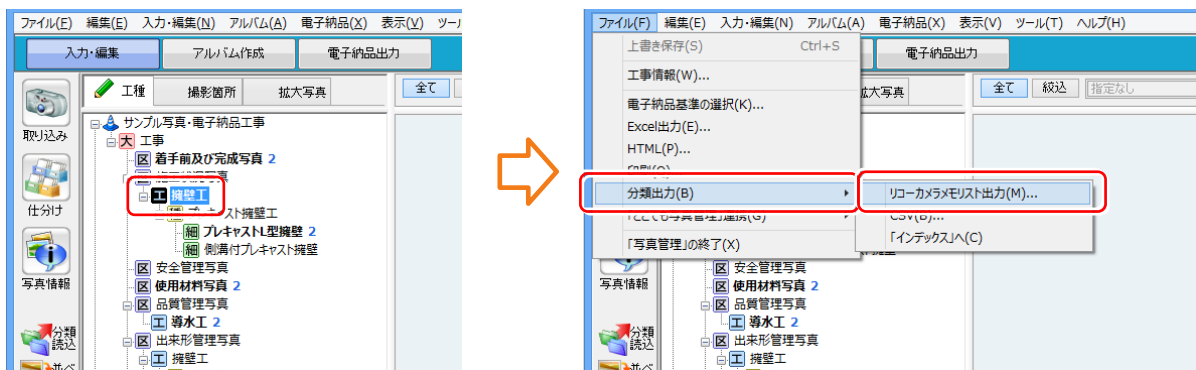
使用コマンド：[ファイル]－[分類出力]－[リコーカメラメモリスト出力]コマンド

[入力・編集]－[取り込み]コマンド

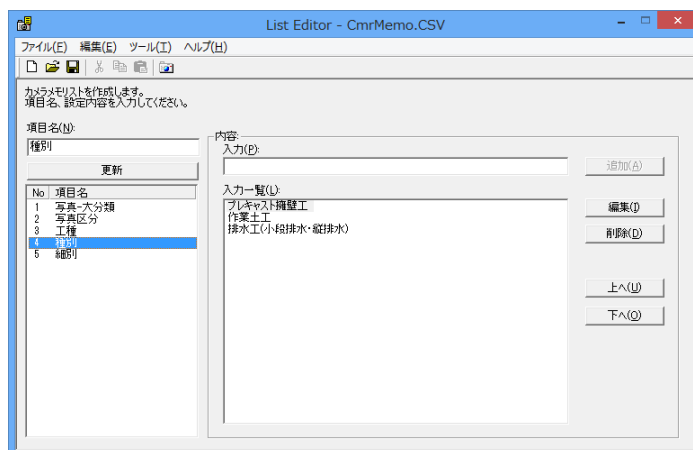
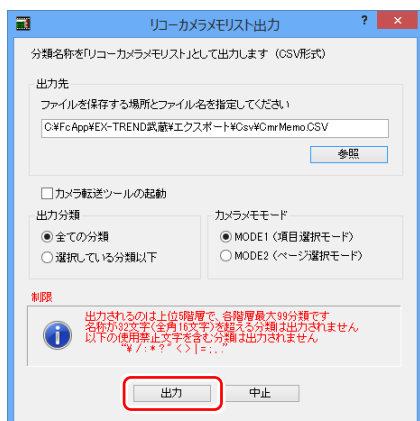
※コマンド及び機能はリコー社製デジタルカメラ添付アプリケーションが正常にインストールされている環境でのみ表示・実行されます。

1-1 「リコーデジタルカメラメモリスト」の出力方法

- 1 工種分類を出力する場合は[工種] ボタンを、撮影箇所を出力する場合は[撮影箇所] ボタンで出力する分類ツリーを選択します。
- 2 分類ツリーで、分類名称を出力する分類を選択します。
ただしすべての分類を出力する場合は、どの分類を選択しても構いません。
- 3 [ファイル]メニューの[分類出力]の[リコーカメラメモリスト出力]コマンドをクリックします。



- 4 [リコーカメラメモリスト出力]ダイアログが表示されます。
各項目を設定して[出力]ボタンをクリックします。(各項目の解説は、次ページ参照)
- 5 リコー社製「List Editor」が起動されます。または出力先のフォルダーがエクスプローラーで開かれます。
デジタルカメラへの「カメラメモリスト」の転送は、リコー社製「List Editor」を使用しておこないます。



Point

[リコーカメラメモリ出力]ダイアログの各項目の解説

● [出力先] ボックス、[参照] ボタン

ファイルの保存先をフルパスで入力します。
[参照] ボタンで表示される [保存場所とファイル名
の指定] ダイアログで指定することもできます。

● [カメラ転送ツールの起動] チェックボックス

チェックボックスをオンにすると、ファイル出力後にリ
コー社製「List Editor」が起動されます。
チェックボックスをオフにすると、ファイルの出力のみ
おこないます。

● [出力分類]

・ [全ての分類]

分類ツリーのすべての分類名称をファイルに出力しま
す。

・ [選択している分類以下]

分類ツリーで選択された分類以下の分類のみ、分
類名称をファイルに出力します。

● [カメラメモモード]

・ [MODE1 (項目選択モード)]

MODE1 で出力します。各項目 (階層) が個別に出力されます。

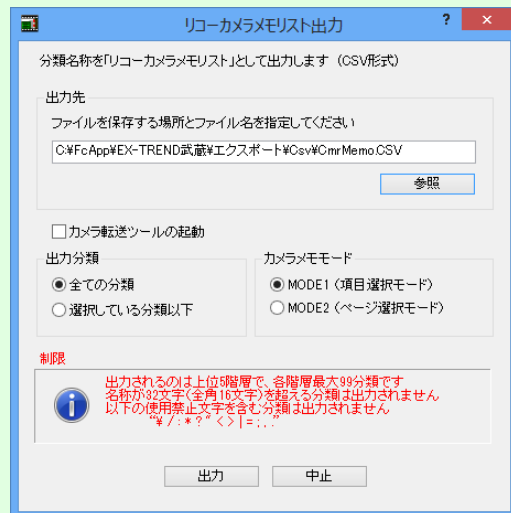
・ [MODE2 (ページ選択モード)]

MODE2 で出力します。各階層 (最大 20 階層) の組み合わせで出力されます。あらかじめ使用する組み合
わせが決まっている場合に便利です。

[カメラメモモード] は、「List Editor」のファイルバージョンが「2.1 以上」の場合のみ、選択可能です。

List Editor Ver.2.0 → MODE1 で出力 (固定)

List Editor Ver.2.1~ → MODE1、MODE2 から選択して出力



注意

出力可能分類名の制限について

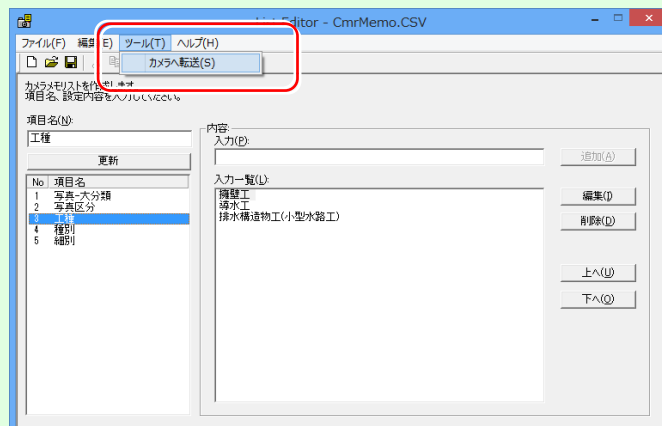
以下の制限を越えた分類は出力されません。

- ・ 出力する分類セツ数は、99 個。100 個目以降は出力されない。
- ・ 文字数半角 32 文字 (全角 16 文字)。
- ・ 「写真-大分類」から「細別」まで最大 20 階層、各階層 50 個まで。
- ・ ¥ / : * ? < > | = ; . . は使用禁止。
- ・ 使用禁止文字を含む分類は出力されない。
- ・ JIS 第 1 水準, JIS 第 2 水準文字に限る。

Point

リコー社製「List Editor」について (Version 2.3)

[ツール] - [カメラへ転送] コマンドで USB 接続したデジカメに分類情報を転送します。
デジカメでのボタン操作により、撮影した写真に分類情報をリストから選択して入力します。



●MODE1 の場合

デジカメでは上位分類より順に個別入力する必要があります。例えば、分類 2~20 を入力しても、分類 1 が未設定では自動振り分けできません。

カメラメモリストはツリー構造ではないため、各分類で全候補が表示されます。(上位分類を入力しても下位分類で対応する候補が絞り込まれません。)

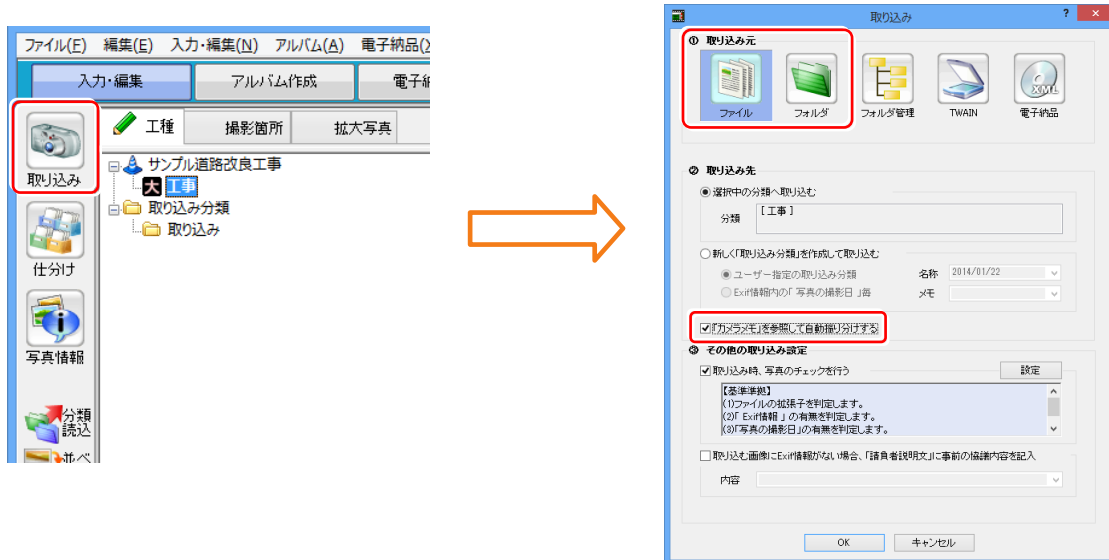
●MODE2 の場合

デジカメでは分類 1~20 の組み合わせから、選択して入力します。

各分類項目のカメラメモを個別に変更することはできません。

1-2 「リコーデジタルカメラメモリスト」を参照しての写真取り込み方法

- 1 工種分類を取り込む場合は[工種]ボタンを、撮影箇所を取り込む場合は[撮影箇所]ボタンで取り込む分類ツリーを選択します。
- 2 入力・編集ステージで[取り込み]ボタンをクリックします。
- 3 取り込み方法で[ファイル]または[フォルダ]のどちらかを選択し、「[カメラメモ]を参照して自動振り分けする」チェックボックスをオンにして[OK]ボタンをクリックします。



- 4 ファイルから取り込む場合は、表示される[ファイル選択]ダイアログで取り込む写真ファイルを選択して、[取込]ボタンをクリックします。
フォルダーから取り込む場合は、表示される[フォルダ選択]ダイアログで取り込む写真ファイルが保存されているフォルダーを選択して[取込]ボタンをクリックします。
- 5 写真が「カメラメモリスト」を参照して、分類に自動振り分けされて取り込まれます。
 - ・既存の分類に完全に一致する場合 ⇒ 既存分類へ取り込む
 - ・既存の分類に一致しない場合 ⇒ 新規に分類を作成し、その分類へ取り込む
 - ・分類項目名称が取得できなかった場合 ⇒ [取り込み]ダイアログの[取り込み先]で指定された分類へ取り込む



注意

【撮影箇所】の分類ツリーでは1階層のみの取り込みとなります

分類は1階層しか取り込まれません。残りの階層は無視されます。

2 RICOH G700/G600の 画像加工検知機能に対応

2-1 [電子納品]-[チェック]の[画像]で画像加工検知機能に対応

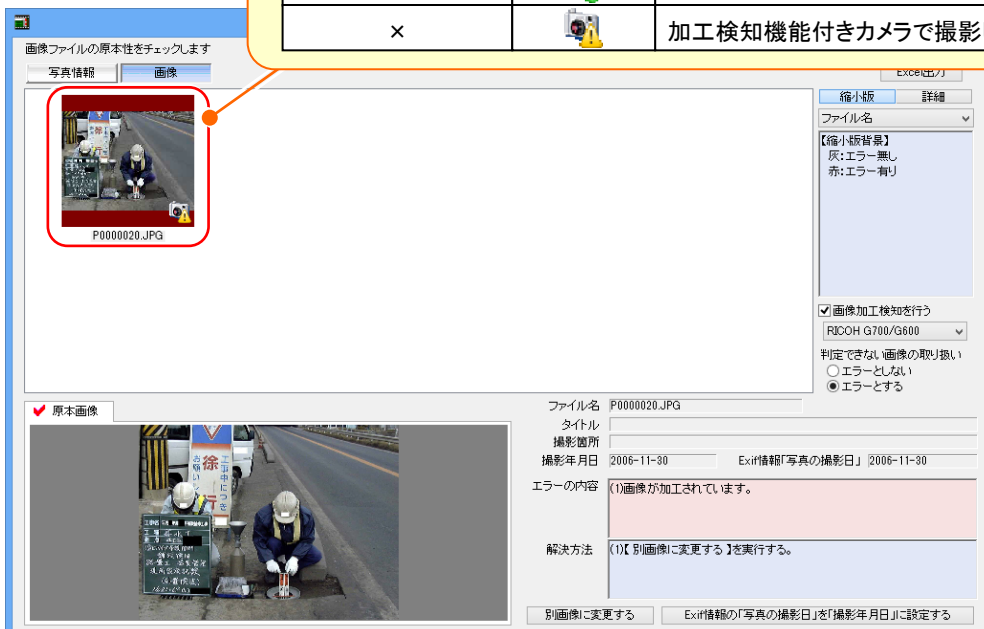
[電子納品]-[チェック]の[画像]に[画像加工検知を行う]のチェックを追加して、画像加工検知機能に対応しました。



加工検知機能付きカメラで撮影した写真をチェックするときは、[画像加工検知を行う]のチェックをオンにします。チェックをオンにしたときは、加工検知機能付きカメラで、機能オフで撮影した写真、あるいは、加工検知機能無しカメラで撮影した写真を[エラーとしない]か[エラーとする]かを選択します。

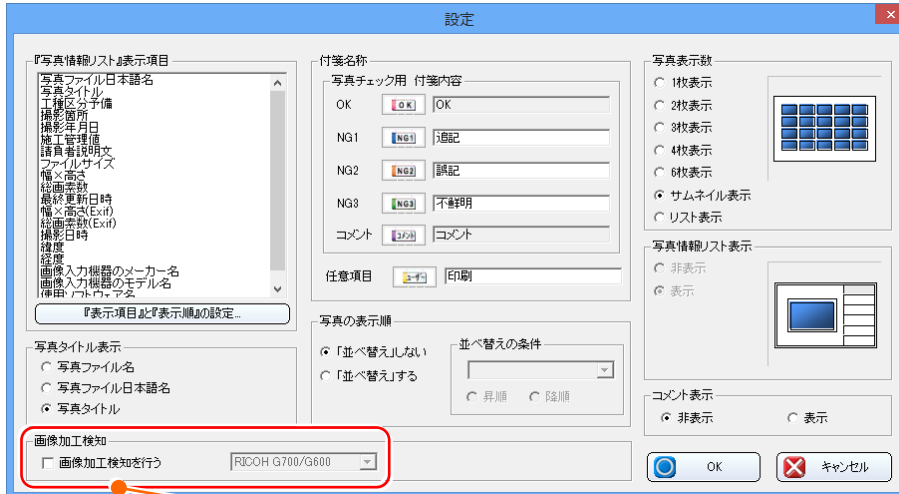
[画像加工検知を行う]のチェックがオンのときは、以下のように表示されます。

詳細の[加工検知]	縮小版	内容
—	なし	加工検知機能付きカメラで、機能オフで撮影した写真 加工検知機能無しカメラで撮影した写真
○		加工検知機能付きカメラで撮影し、加工されていない写真
×		加工検知機能付きカメラで撮影し、加工されている写真



2-2 EX-フォトビューアで画像加工検知機能に対応

EX-フォトビューアの[ツール]–[設定]に[画像加工検知を行う]のチェックを追加して、画像加工検知機能に対応しました。



加工検知機能付きカメラで撮影した写真かをチェックするときは、[画像加工検知を行う]のチェックをオンにします。



[画像加工検知を行う]のチェックがオンのときは、以下のように表示されます。

表示	内容
なし	加工検知機能付きカメラで、機能オフで撮影した写真 加工検知機能無しカメラで撮影した写真
	加工検知機能付きカメラで撮影し、加工されていない写真
	加工検知機能付きカメラで撮影し、加工されている写真